研究協力のお願い

新潟県立新発田病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

冠攣縮誘発試験における多枝冠攣縮と高リスク臨床像との関連：10 年間の単施設後ろ向き観察研究

１．研究の対象および研究対象期間

2016 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに、新潟県立新発田病院循環器内科において、冠攣縮性狭心症の診断等を目的として冠動脈造影検査および冠攣縮誘発試験（アセチルコリンまたはエルゴノビンによる誘発試験）を受けられた患者さんを対象とします。

２．研究目的・方法

冠攣縮性狭心症では、冠動脈の一部にのみ攣縮を認める場合と、複数の冠動脈に攣縮を認める場合があります。本研究では、過去 10 年間に当院で実施した冠攣縮誘発試験の診療情報を後ろ向きに調査し、複数の冠動脈に攣縮を認める「多枝冠攣縮」と、失神、自然発症の心室頻拍・心室細動、自然発症の ST 上昇などの高リスクな臨床像との関連を検討します。あわせて、患者背景、冠動脈造影所見、攣縮の形態・部位、誘発試験中の合併症などとの関連も解析します。

本研究は通常診療で既に得られた情報のみを用いる後ろ向き観察研究であり、研究のために新たな検査、治療、採血等を行うことはありません。

３．研究に用いる試料・情報の種類

診療録および検査記録から、年齢、性別、体格、喫煙歴、高血圧・脂質異常症・糖尿病等の併存疾患、受診時の症状・心電図所見・不整脈・血液検査所見、冠動脈造影所見、冠攣縮誘発試験の方法および結果、攣縮の部位・形態、誘発試験中の不整脈等の合併症、診断および経過に関する情報を収集します。

収集した情報は研究用の番号に置き換え、氏名等の個人を直接特定できる情報を除いたうえで解析します。研究成果を学会や学術誌等で公表する場合も、個人が特定される情報は公表しません。

４．お問い合わせ先

研究に関するご質問や、研究に情報を利用されたくない場合のご連絡は、下記までお願いいたします。研究への協力を希望されない場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。なお、研究結果の公表後など、すでに個人を特定できない形で解析が完了している場合には、ご希望に沿えないことがあります。

研究責任者：新潟県立新発田病院　循環器内科部長　土田　圭一

連絡先：〒957-8588　新潟県新発田市本町 1-2-8　新潟県立新発田病院循環器内科

電話：0254-22-3121（代表）